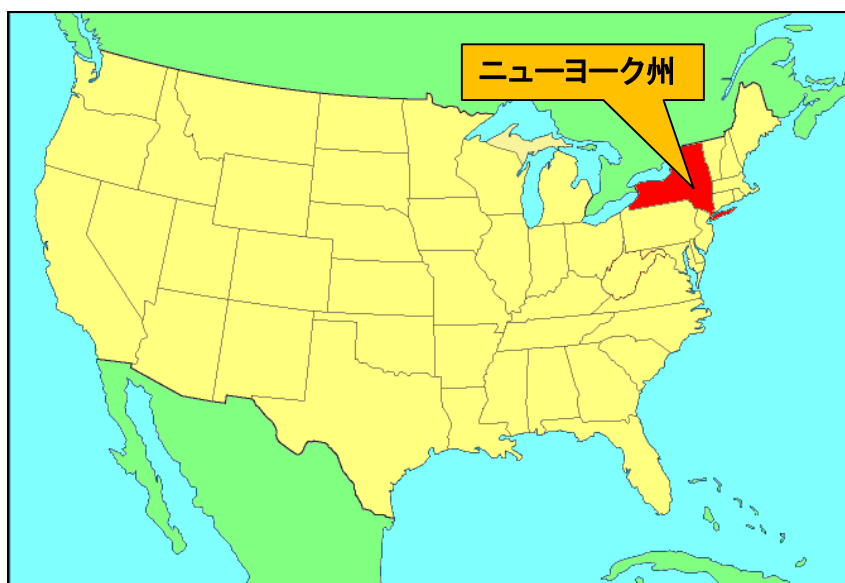


米国ニューヨーク市郊外で流行性耳下腺炎が流行

2010年2月9日 ProMED 情報 (The Canadian Press、Associated Press report)



ニューヨーク市郊外で、300名以上が流行性耳下腺炎と診断されました。これは、ここ数年来で米国における最も大きな流行性耳下腺炎の流行です。患者の多くは、正統派ユダヤ教徒です。保健当局によると、Rockland 郡の Monsey 及び New Square の町で 303 名が同疾患と診断されました。調査の結果、英国から病気を持ち込んだ 11 才の少年が参加した Sullivan 郡でのユダヤ人サマーキャンプにおいて 2009 年 8 月から流行が始まったそうです。以後、北部ニューヨーク州のオレンジ Orange 郡、ブルックリン Brooklyn のユダヤ教徒のコミュニティー、ニュー・ジャージー州、さらに、カナダのケベック州、イスラエルのエルサレムに広がっています。

その後、ニューヨーク市保健局によると、2月8日現在確定患者数は 909 名で、他に 344 名について調査中とのことです。患者の多くは 18～30 歳の男性です。

〔ProMED 調整者〕

このような宗教コミュニティーは、一般的に予防接種を受けつけない傾向にあります。

厚生労働省 福岡検疫所